

# 1 概要

---

- 1-1 背景・目的
- 1-2 対象範囲
- 1-3 検討の流れ

# 1-1 背景・目的

## ■ 背景

### ○令和元年8月 「TOKYO Data Highway 基本戦略」 公表

- ・東京都立大学を「5Gの重点整備エリア」として位置付け

### ○令和元年12月 「未来の東京」戦略ビジョン 公表

- ・南大沢地区を「スマート東京」先行実施エリア（※）として位置付け  
（※）5Gと先端技術を活用した分野横断的なサービスの都市実装を先行的に実施していくエリア

### ○令和2年2月 「スマート東京実施戦略」 公表

- ・「最先端の研究とICT活用による住民生活の向上が融合した持続可能なスマートエリア」を目指す。
- ・「先端技術を活用したまちづくりの検討」として「協議会の設立」や「実証実験の推進」を位置付け

### ○令和2年2月 「南大沢駅周辺地区まちづくりの方向性（案）」を提示

- ・まちづくりの将来像に「スマートなまち」として、「先端技術活用や産学公連携の促進」や「駅前と住宅地間のアクセス性強化」を位置付け

### ○令和3年2月 「南大沢駅周辺地区まちづくり方針（素案）」を提示

- ・分野別のまちづくり方針に「先端技術の方針」や「エリアマネジメントの方針」等を位置付け

## ■ 目的

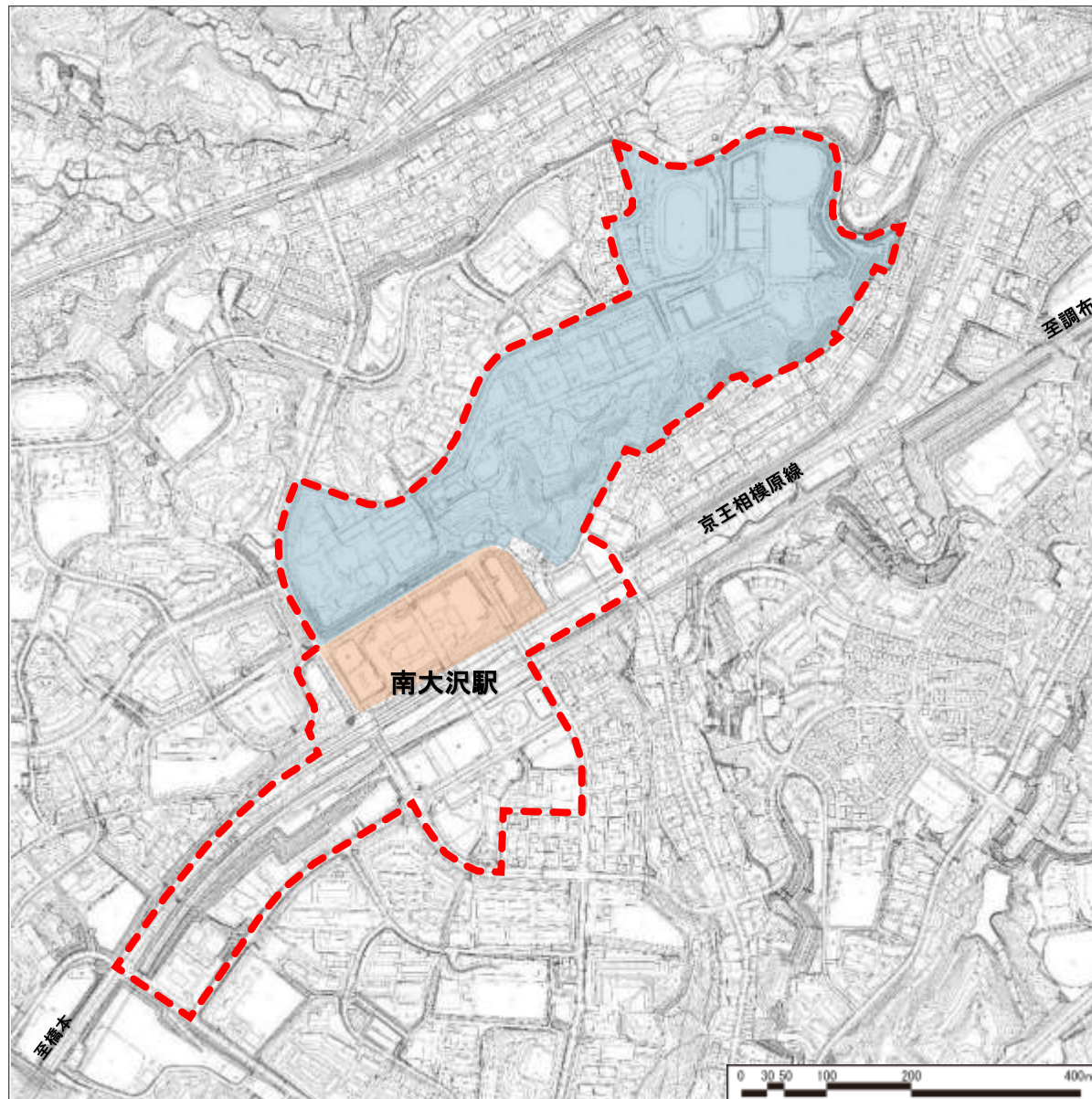
○南大沢駅周辺地区は、賑わいのある拠点が形成され、学術研究とまちづくりが連携するエリアである。

一方、丘陵地のため、高齢者等の居住者の移動等が課題である。

○このため、最先端技術の研究とICT等の活用を図りながら、地域の課題や対応策等について、多くの関係者との調整や合意形成及び専門的見地からの検討が不可欠である。

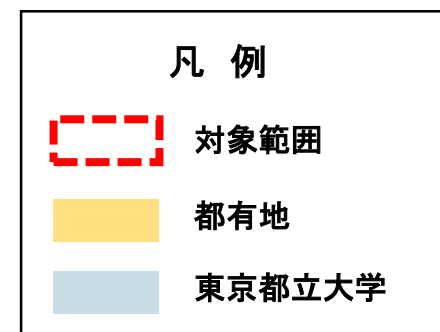
○そこで、様々な関係者が参画する「南大沢スマートシティ協議会」を設立し、中長期的な取組について検討することを目的とする。

# 1-2 対象範囲



先端技術を活用したまちづくりを戦略的かつ迅速に推進するため、将来的に積極的な開発を誘導する地区（地区計画）であり、都有地等を活用できる**駅周辺地区を対象範囲**とする。

ただし、検討事項により柔軟に幅広く範囲を捉えることとする。



# 1-3 検討の流れ

## <スマートシティ実施計画の検討の流れ>

